

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者生活支援事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	地域福祉課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		2 高齢者の在宅生活を支援します									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市高齢者外出支援サービス事業実施要綱外11要綱														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	・高齢者の在宅生活の継続を図る。														
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援サービス事業 要介護3以上の方にリフト付き車両等の利用料を助成する。</li> <li>・家事援助サービス事業 ひとり暮らし高齢者に家事援助員を派遣し、調理などの軽微な家事援助を行う。</li> <li>・高齢者デイサービス事業 市内の社会福祉法人(3法人、5か所)への委託 給食、入浴、日常動作訓練など</li> <li>・食の自立支援事業 民間の事業者への委託 弁当の調理、配達、安否確認など</li> <li>・訪問理美容サービス 要介護3以上の方に出張理美容サービスを行う。</li> <li>・寝具乾燥クリーニング ひとり暮らし高齢者及び要介護3以上の方に寝具の乾燥クリーニングを年4回行う。</li> <li>・軽度生活援助サービス 高齢者世帯に庭の手入れ等の軽易な日常生活上の援助を行う。</li> </ul> <p>◆25年度直接経費の内訳            外出支援サービス委託料 5,321千円 家事援助サービス委託料 401千円            デイサービス利用委託料 463千円 食の自立支援事業委託料 12,872千円            訪問理美容サービス委託料 1,266千円 寝具乾燥クリーニング委託料 582千円            軽度生活援助サービス委託料 747千円 その他消耗品費等 1,582千円            (一般財源以外の財源)            食の自立支援外4事業利用者負料 8,112千円</p> <p>◆26年度直接経費の内訳            外出支援サービス委託料 4,783千円 家事援助サービス委託料 337千円            デイサービス利用委託料 936千円 食の自立支援事業委託料 19,011千円            訪問理美容サービス委託料 1,400千円 寝具乾燥クリーニング委託料 894千円            軽度生活援助サービス委託料 667千円 その他消耗品費等 4,303千円            (一般財源以外の財源)            食の自立支援外事業利用者負料外 10,538千円</p>														
	受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援サービス、家事援助サービスは、概ね1割</li> <li>・食の自立支援事業300円/食</li> <li>・デイサービス事業400円/日及び昼食代等の実費</li> <li>・訪問理美容サービス1,000円/回 ・軽度生活支援サービス事業80円/時間</li> <li>・寝具乾燥クリーニング事業200円/枚(掛布団・敷布団)、100円/枚(毛布)</li> </ul>														

			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	8,297	25,209	23,234
正職員			従事者数	人	0.30	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,578	2,630	2,630	2,630
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	9,875	27,839	25,864	34,961		
対前年比		%		281.9	92.9	135.1		
財源	一般財源		千円	9,303	20,299	17,752	24,423	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	572	7,540	8,112	10,538	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	利用者数 (外出支援サービス)	人	目標	147	150	185
実績				150	185	198	
業	利用者数 (食の自立支援)	人	目標	300	400	300	255
			実績	295	295	254	
業	利用者数 (寝具クリーニング)	人	目標	126	188	165	185
			実績	188	162	184	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	延利用回数 (外出支援サービス)	回	目標	900	950	1,165	1,200
実績			922	1,165	1,194		
業	延利用配食数 (食の自立支援)	食	目標	23,700	37,400	28,800	25,100
			実績	23,934	27,443	25,052	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	高齢者の在宅生活の継続に必要なサービスを、適切に実施し、各サービスの利用状況は、食の自立支援を除き前年と比べ数値は伸びており、高齢者の在宅生活を支援することができた。				
		事業実施における課題	食の自立支援事業において、事業者の変更があった場合、利用者が混乱をきたす。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者の在宅生活の継続を支援できないので、安心した在宅生活に支障をきたす恐れがある。				
改善内容	平成26年度の	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	高齢者デイサービス、家事援助サービス及び外出支援サービスの利用者負担については、サービスを受けた事業者に利用者が直接支払うように変更した。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象とした食の自立支援サービスは、手渡しによる見守り事業であるので、利用者の増加できるように地区民協等でPRを行う。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	今後の高齢社会において、高齢化率の伸びや住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援するために必要であると考えます。					
	27年度以降の改善案	平成26年度に策定される第6次高齢者保健福祉計画の高齢者数等の推計から、対象者数や需要予測を見込み、サービス対象者の見直しを行っていく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 現状では維持とするが、本事業は、今後、高齢化が進む中で対象者の増加が見込まれる場合は、将来的な対象者数や需要予測をする中で、対象者の基準の見直しを行なうこと。また、地域の見守り機能など中長期的な課題について、検討を行うこと。